**第３学年　母性看護学習指導案**

広島県立戸手高等学校

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 教　諭　 野田　千代

１　対象授業

　　　日　　時 平成３０年１１月１６日（金）　６限

　　　学年・組 ３年　選択１群　女子１２名

２　単元名　　　　　 母性の発達

３　単元について

○単元観

人間や動物において母が子に哺乳したり保護する母性行動は，先天的に備わったものに加えて後天的な学習によって獲得するところが大きい。か弱いものを思いやる気持ちや価値観，母性の考え方は社会的・文化的な影響を受けて培われ，母親としての子どもへの愛情や庇護の意識・感情として母性意識が芽生える。そこで本単元は，後天的な学習によって獲得する母性の考え方を，広島県教育委員会が開発した親プロ１番1）を取り入れて育むことを目的とする。

○生徒観

母性看護では将来看護に進む生徒と，知識を得て将来親になった時に役立てたいという思いの生徒が混在している。生徒が将来親となるか否かに拘らず，母性を育むことが目標である。能動的な学び，学習者基点の学び，深い学びを行うために課題発見・解決学習として週末課題を実施している。内容は母性看護に関するテーマ（例：妊娠，分娩，人工妊娠中絶等）を設定し，期日を意識しながら各自が文献やインターネットで調べたものをＡ３白紙にまとめて提出するというものである。イラストや色鉛筆を使い分かりやすさの工夫だけでなく，グラフや表などのデータを引用したものや，自分の母親へインタビューを行いまとめるなど内容を深める動きもあり生徒の個性が表れている。予習的な要素を含む週末課題を1年間の学習の成果として束ね『マイブック』にし，授業最終日に一人一人に手渡すことから，提出意欲は高く提出率は100％である。

○指導観

　今回の親プロでは【赤ちゃんのベッド作り】を週末課題とした。この課題を設定した理由は２つある。１つは，100分のプログラムを50分の授業に適合させるため卵に顔と名前を書くワークの内容を先に考えさせること。もう1つは，週末課題にすることで，一定の期間を設けてじっくりと子どもに向き合う時間（14日間）をつくること，つまり親になる準備期間を設けたことである。課題の内容は自分の赤ちゃん（卵）を寝かせるベッドを自由な素材で作った作品とワークシートの提出である。ワークシートには「1 自分の赤ちゃん（卵）を寝かせるベッドは，何を使ってどのように作りましたか」「2　自分の赤ちゃん（卵）を寝かせるベッドを作るとき，どのようなことを思いながら作りましたか」「3　卵に顔を書き命名したあと，どうしてその名前にしたかを書きましょう」を問いとした。

週末課題の【赤ちゃんのベッド作り】を通して親になる擬似体験をすることで，母性を意図的に耕し，当日の授業で自分だけの考えだけでなく他者の意見に触れコミュニケーションを図る後天的な学習によって母性の発達を育むことを目的としている。そして学習を通して主体的に自分の人生を描くきっかけづくりを母性看護では行っていきたいと考える。

４　単元の目標

（１）週末課題の赤ちゃんのベッド作りを通して親になる擬似体験を行い，親のイメージ化を図ることができる。

（２）子どもに対する親の思いと責任の重さが理解できる。

５　本時の展開（第１次の１時間目）

1. 本時の目標

親のイメージ化を図り，子どもに対する親の思いと責任の重さが理解できる。

（２）観点別評価規準

【関心・意欲・態度】課題意識を持ち，積極的に取り組んでいる。

【思　考・　判　断】親の立場に思いを馳せ，イメージ化することができる。

【技　能 ・ 表　現】分かりやすく適切に発表できる。

【知　識 ・ 理　解】子どもに対する親の思いと責任の重さが理解できる。

（３）準備物

* + 1. 週末課題の赤ちゃんのベッドとワークシート
    2. 親プロのワークシート

1）親プロとは，「親の力」をまなびあう学習プログラムのことで，これから親になろうとする世代から子育て世代，子育て支援を行いたい中高年世代まで，みんなが「寄って，話して，自ら気づく」ための話のきっかけ，対話のツールとして開発された参加型グループワークのことである。本校では学習活動を支援するファシリテーターの資格を授業担当者が取得しており，50分の授業にあてはめ展開する。

（４）学習の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意事項（◇） | 評価規準〔観点〕  （評価方法） |
| **1　課題意識をもつ**  **課題**　他者の卵の赤ちゃんから新たな課題を見つけてみよう  **2　本時の目標を確認する**  **目標**親のイメージ化を図り，子どもに対する親の思いと責任の重さが理解できる  ・親のイメージ化を図る。  ・親プロ1番のワーク  **3　本時のまとめをする**  **4　本時を振り返り，次時につなげる** | ◇週末課題で作った友達の卵の赤ちゃんを取り出し，付箋にコメントを記入する。他者のわが子に対する愛情を感じ取ったり，新たな課題を発見する。  ◇卵の赤ちゃんと付箋を相手に返し内容を確認する。  ◇ワークシートを配布する。  ◇母性の定義を押さえる。  ◇親プロについての説明と3つの約束の確認。  ◇表紙を読む。  ◇やってみましょうのワーク。  1　卵の赤ちゃんを手で温めましょう  2　卵の赤ちゃんに付けた名前を事前課題のワークシートより披露し合う  　3　卵の赤ちゃんをかご（幼稚園・保育所）に入れましょう   |  | | --- | | ワークシートに記入 | | コミュニケーション |   　4　自分の卵の赤ちゃんをかごから取り出します  　5　みんなで輪になって，その卵を回しましょう  　6　一周回ったらかごに戻しましょう   |  | | --- | | ワークシートに記入 | | コミュニケーション |   　7　最後はパックに戻しましょう   |  | | --- | | ワークシートに記入 | | コミュニケーション |   　　自分の親（保護者）に対して，どう思いましたか   |  | | --- | | ワークシートに記入 | | 付箋に書きKJ法を用いながらコミュニケーション  （時間が余ればグループの意見を発表） |   ◇学習を振り返りましょうのワーク   |  | | --- | | ワークシートに記入 | | コミュニケーション |   ◇生徒の意見を抜粋しながら振り返る。  ◇本時の目標を振り返り，達成できたかを確認する。  ◇次の予告と次回の週末課題「子どもの発達」のテーマと提出日をスコラ手帳に書かせ，課題意識をもたせる。 | 作成した自分の卵の赤ちゃんと他者の違いに新たな課題を見つけることができる。  また，他者の良いところをほめほめ言葉で表現することができる。  〔思考・判断・表現〕  課題意識を持ち，親のイメージ化を図るため取り組んでいる。  〔関心・意欲・態度・思考〕  課題を発見し，表現している。  〔技能・表現〕  課題意識を持ち，子どもに対する親の思いと責任の重さが理解できる。〔関心・意欲・態度・思考〕 |